

今こそ知りたい！ 子宮頸がんについて考えよう

私共は、性感染予防の1つとして、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐことを呼び掛け、子宮頸がん予防についての啓発活動を行っています。

今回は、女性の視点から「なぜ日本の女性が検診を受けないのか」「検診で子宮頸がんを予防できるのか」「HPVワクチンは必要なのか」といった疑問を考えていきたいと思えます。

多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2013年11月24日（日）13：00～16：30 《12:30より受付開始》
場所：東京シティエターナル内T-CATホール（東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅 直結）
共催：性と健康を考える女性専門家の会 NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会
参加費：会員 1,000円／一般 2,000円／学生（大学院生を除く）1,000円
定員：120名（定員になり次第締め切りますので お申し込みはお早めをお願いいたします）

13:00～13:15「子宮頸がんの基礎知識」

江夏亜希子(四季レディースクリニック)

13:15～14:05「子宮頸がんは検診だけでは予防できないー英国・オーストラリアの現状と今日本にある様々な誤解ー」 シャロン・ハンリ(北海道大学医学研究科)

14:05～14:35「日本の子宮頸がん予防の将来を考える」

宮城悦子(横浜市立大学医学部産婦人科)

ー休憩 15分ー

14:50～15:20「子宮頸がん検診の落とし穴～若年者へのヘルスケアと子宮頸部腺がん」

種部 恭子(女性クリニックWe!TOYAMA)

15:20～15:40「23歳で子宮頸がんを体験して」阿南里恵(日本対がん協会)

15:40～16:30 ディスカッション 江夏亜希子 シャロン・ハンリ 宮城悦子 種部恭子 阿南里恵
司会 早乙女智子(神奈川県立汐見台病院 産婦人科)

お問い合わせ・申し込み 「性と健康を考える女性専門家の会」事務局
〒104-0045 中央区築地1-9-4 ちとせビル3F
TEL:03-5565-3588 FAX:03-5565-4914 MAIL:pwesh@ellesnet.co.jp

FAX (03-5565-4914) かメール(pwesh@ellesnet.co.jp)でお申し込みください (11月18日締切)

性と健康を考える女性専門家の会 会員 一般 学生

●多くの方に勉強していただく場ですので、静かに聞きいただくようお願いいたします。

進行を妨げるような行為がありましたら退場していただきます。

当日の録音・撮影は禁止とさせていただきます。取材をご希望の方は事前にお申込ください。

無断で録音・撮影をされた場合は、データの消去の上、ご退出頂きます。

お名前： _____ ご所属： _____

お電話： _____ FAX： _____

E-Mail： _____